

事業計画書目次

[資源循環局]

10款1項4目

(単位：千円)

計画 書頁	事業名	令和8年度		令和7年度		増△減（8－7）		新規・ 拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
20	車両等維持管理費	69,262	64,210	61,706	54,105	7,556	10,105	
21	車両保全費	146,534	145,534	115,172	114,172	31,362	31,362	
22	車両燃料費	331,166	331,166	331,168	331,168	△ 2	△ 2	
23	整備工場補修費	10,034	10,034	5,961	5,961	4,073	4,073	
24	車両調達費	1,107,456	1,107,456	1,105,526	1,105,526	1,930	1,930	
	計	1,664,452	1,658,400	1,619,533	1,610,932	44,919	47,468	

令和8年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	車両課				新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	10	款	1	項	4	目	政策群番号	13	施策群番号	30
事業名称	車両等維持管理費										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	69,262	0	0	5,052	0	64,210
令和7年度	61,706	0	0	7,601	0	54,105
増▲減	7,556	0	0	▲2,549	0	10,105

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	62,277	57,686	69,100		69,100	69,100
	市債＋一般財源	54,675	50,099	64,048		64,048	64,048
決算	事業費	65,005	71,095				
	市債＋一般財源	52,980	66,337				

事業概要 (アクティビティ)		ごみ収集車両の点検整備に係る法定費用及び車両整備施設等の維持管理と車検に必要な重量税及び自賠責保険等の執行をします。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
車両台数	単位	目標	986	986	978	978	978	978	978
	台	実績	986	978					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
収集車両等の整備、供給	単位	目標	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行	円滑な業務の遂行
	－	実績	達成	達成					
事業目的		安定的なごみの収集運搬のため、計画的な車両点検や迅速な整備を行います。また、そのための施設設備の維持管理を行います。							
背景・課題		ごみ収集車とその整備に係る安定した維持管理体制の確保							
根拠法令・方針決裁等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律・自動車重量税法・道路運送車両法、同施行規則・労働安全衛生法、道路交通法							
根拠・データ等		・車両台数（資源循環局事業概要） ＜実績推移＞4年度985台、5年度986台、6年度978台、7年度978台							
事業スケジュール		昭和48年度：事業開始以降、安定的なごみの収集運搬のため、計画的な車両点検や迅速な整備を実施しています。							
事業開始年度		昭和48年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	車両等維持管理費	69,262	61,706	7,556	車両リフト更新に伴う増
	細事業合計		69,262	61,706	7,556	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	大島 明男	樺嶋 健行

令和8年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	車両課				新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	2	
歳出予算科目	一般会計	10	款	1	項	4	目	政策群番号	13	施策群番号	30
事業名称	車両保全費										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	146,534	0	0	1,000	0	145,534
令和7年度	115,172	0	0	1,000	0	114,172
増▲減	31,362	0	0	0	0	31,362

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	114,760	114,408	146,534		146,534	146,534
	市債＋一般財源	113,760	113,408	145,534		145,534	145,534
決算	事業費	235,949	215,337				
	市債＋一般財源	234,665	212,660				

事業概要 (アクティビティ)		ごみ収集車両の保全整備及び維持管理							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
再生タイヤ加工本数	単位	目標	620	250	250	224	224	224	224
	本	実績	195	196					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
新品タイヤ購入数	単位	目標	1,610	1,600	1,580	1,600	1,600	1,600	1,600
	本	実績	1,927	1,960					
事業目的		安定的なごみの収集運搬を計画どおり運用できるように収集車両の修繕、整備が必要であり、車両の維持管理費用として必要です。							
背景・課題		世界的な半導体不足等に伴って部品原材料や車検整備費用の単価高騰が続いているため、厳しい予算運用となっていくことが課題として挙げられます。							
根拠法令・方針決裁等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、道路運送車両法等							
根拠・データ等		車両台数（資源循環局事業概要） ＜実績推移＞ 4年度985台、5年度986台、6年度978台、7年度978台							
事業スケジュール		昭和48年度：事業開始 以降、安定的なごみの収集運搬のために、収集車両の修繕、整備等を実施しています。							
事業開始年度		昭和48年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引(増減)	増減説明
	1	車両保全費	146,534	115,172	31,362	車検及び定期点検単価の増
	細事業合計		146,534	115,172	31,362	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	大島 明男	係長	樺嶋 健行	

令和8年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	車両課				新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	3	
歳出予算科目	一般会計	10	款	1	項	4	目	政策群番号	13	施策群番号	30
事業名称	車両燃料費										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	331,166	0	0	0	0	331,166
令和7年度	331,168	0	0	0	0	331,168
増▲減	▲2	0	0	0	0	▲2

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	324,278	323,850	331,166		331,166	331,166
	市債＋一般財源	324,278	323,850	331,166		331,166	331,166
決算	事業費	332,091	329,146				
	市債＋一般財源	332,091	329,146				

事業概要 (アクティビティ)		ごみ収集車両等の走行に必要な事業用車両燃料（ガソリン・軽油等）を購入します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
燃料使用量（ガソリン・軽油合計）	単位	目標	1,960,000	1,982,210	2,018,857	1,982,400	1,982,400	1,982,400	1,982,400
	L	実績	2,017,434	1,997,153					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
燃料費の適正な執行管理	単位	目標	実行	実行	実行	実行	実行	実行	実行
	－	実績	達成	達成					
事業目的		ごみ収集車両等の事業用車両に使用する燃料を安定的かつ速やかに供給することで、安定した廃棄物処理と市民サービスの向上が期待できます。							
背景・課題		世界的なエネルギー需要の増大等に伴い、年々原油価格が高騰しています。この影響により、燃料単価が予測しにくいため円滑な予算運営を図ることが難しくなると考えられます。							
根拠法令・方針決裁等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
根拠・データ等		・ 車両台数（資源循環局事業概要） <実績推移> 車両総台数 4年度985台、5年度986台、6年度978台、7年度978台 車両管理台数 4年度929台、5年度930台、6年度922台、7年度913台 ※車両管理台数・・・車両総台数より輸送車両分等を差し引いた台数							
事業スケジュール		昭和48年度：事業開始 以降、安定的なごみの収集運搬のため、ごみ収集車両等の事業用車両に使用する燃料を供給しています。							
事業開始年度		昭和48年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	車両燃料費	331,166	331,168	▲2	年間平均使用量等の精査による減
	細事業合計		331,166	331,168	▲2	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	大島 明男	係長	樺嶋 健行	

令和8年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	車両課				新規拡充		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	4	
歳出予算科目	一般会計	10	款	1	項	4	目	政策群番号	13	施策群番号	30	
事業名称	整備工場補修費											

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	10,034	0	0	0	0	10,034
令和7年度	5,961	0	0	0	0	5,961
増▲減	4,073	0	0	0	0	4,073

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予算	事業費	6,623	5,961	10,034	10,034	10,034
	市債＋一般財源	6,623	5,961	10,034	10,034	10,034
決算	事業費	6,248	5,805			
	市債＋一般財源	6,248	5,805			

事業概要 (アクティビティ)	経年劣化の状況を調査し、その結果に基づき、必要な工事を実施します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
整備、改修工事執行	単位	目標	工事実施	工事実施	工事実施	工事実施	工事実施	工事実施
	－	実績	達成	達成				
事業指標② (アウトカム)	年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
安定した車両整備環境の確保	単位	目標	環境整備	環境整備	環境整備	環境整備	環境整備	環境整備
	－	実績	達成	達成				
事業目的	車両課整備工場を計画的に補修することにより、施設の機能維持及び延命化を図り、安全で安定した収集業務を支えます。							
背景・課題	施設の老朽化と財源の確保							
根拠法令・方針針裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
根拠・データ等	施設一覧（資源循環局事業概要）							
事業スケジュール	令和元年度実績 車両課保土ケ谷派遣工場シャッター修繕 令和2年度実績 整備工場外壁その他改修工事 令和3年度実績 車両課金沢派遣工場リフト点検整備委託、車両課受電用引込ケーブル更新工事 令和4年度実績 車両課給排水管更新工事、車両課神明台派遣整備工場屋根漏水対策工事 令和5年度実績 車両課本工場屋上防水工事 令和6年度実績 車両課整備工場前舗装補修工事、車両課保土ケ谷派遣工場事務室設置工事 令和7年度見込 車両課整備工場屋上防水改修工事、車両課LED化工事（明許繰越分） 令和8年度見込 車両課本工場屋根庇改修工事、EV用充電設備設置工事							
事業開始年度	昭和55年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	整備工場補修費	10,034	5,961	4,073	屋根庇改修工事費の増
	細事業合計		10,034	5,961	4,073	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	大島 明男	樺嶋 健行

令和8年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	車両課				新規拡充		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	5	
歳出予算科目	一般会計	10	款	1	項	4	目	政策群番号	13	施策群番号	30	
事業名称	車両調達費											

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	1, 107, 456	0	0	0	96, 000	1, 011, 456
令和7年度	1, 105, 526	0	0	0	52, 000	1, 053, 526
増▲減	1, 930	0	0	0	44, 000	▲42, 070

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予算	事業費	1, 441, 213	1, 229, 974	1, 107, 456	1, 107, 456	1, 107, 456
	市債＋一般財源	1, 441, 213	1, 229, 974	1, 107, 456	1, 107, 456	1, 107, 456
決算	事業費	1, 227, 171	1, 105, 842			
	市債＋一般財源	1, 227, 171	1, 105, 842			

事業概要 (アクティビティ)		ごみ収集車両等の適正な更新管理							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
車両調達数（リース車及び購入車の予算・決算台数）	単位	目標	898	868	806	772	772	772	772
	台	実績	816	794					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
適正な車両台数の維持管理	単位	目標	実行	実行	実行	実行	実行	実行	実行
	—	実績	達成	達成					
事業目的		機能が低下した車両を更新し、安定した運行体制を確保することにより、ごみ収集業務を支えます。							
背景・課題		現在、当課で管理している車両は、購入車よりリース車の方が多くなっていますが、今後、リースから購入へ切り替えていくことができれば、長期的に経費の縮減が期待できると考えられます。そのために必要となる財源確保が今後の課題となります。							
根拠法令・方針決裁等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律、労働安全衛生法、道路運送車両法等							
根拠・データ等		資源循環局事業概要（車両管理台数）							
事業スケジュール		平成14年度～ 連絡車用乗用車のリースによる車両調達を開始 平成15年度～平成21年度 車両の調達方法を原則リースに変更 平成17年度～ 軽ダンプの購入を再開 平成22年度～ 小型機械車（新車）の購入による調達を再開							
事業開始年度		昭和48年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	車両調達費	1, 107, 456	1, 105, 526	1, 930	更新計画見直しによる増
	細事業合計		1, 107, 456	1, 105, 526	1, 930	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	大島 明男	樺嶋 健行